

分野	科目名		配当年次	開講期	
専門分野Ⅱ	母性看護学Ⅰ		2年次	前期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無		
1 単位 (30 時間)	30 時間	大島ゆかり 専任教員	有		
授業の概要	母性の概念と母性看護の対象を理解し、生涯に渡り健康的な生活を送るための看護について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 母性の基盤となる概念について理解できる。 母性看護の対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解できる。 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解できる。 女性のライフサイクル各期の特徴と健康課題を理解できる。 母性看護における倫理を考えることができる。 				
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考	
	1	母性の基盤となる概念①：母性・父性・親性	講義		
	2	母性の基盤となる概念②：母子相互作用・愛着形成	講義		
	3	母性看護の対象および特徴①：男性・女性生殖器系の構造、機能	講義		
	4	母性看護の対象および特徴②：ヒトの発生、性分化のメカニズム	講義		
	5	母性看護の対象および特徴③：性周期（初経、月経）	講義	口頭試問	
	6	母性看護の対象および特徴④：セクシュアリティ・性の多様性	講義		
	7	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状① 母子保健統計の対象と定義 日本の母子保健統計の動向と課題	講義		
	8	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状② 関連する組織、法律、施策の概要 現代女性のライフコースの特徴	講義		
	9	女性のライフサイクル各期の身体的・心理的・社会的特徴、各期の健康課題	講義		
	10	リプロダクティ・ブヘルス/ライツの概念 リプロダクティブヘルスケア	講義		
	11 ～ 14	リプロダクティブヘルスケアについてグループワーク 思春期：性教育（避妊、人工妊娠中絶） 成熟期：月経困難症、月経前緊張症、 性感染症とH I V感染、喫煙女性の健康、性暴力 更年期・老年期：更年期障害、子宮脱、膣炎	グループ ワーク		
	15	母性看護における倫理	GW	DVD 視聴	
	評価	<ol style="list-style-type: none"> レポート：10点 女子：基礎体温を3ヶ月測定し、課題について考察する。 男子：女子の性周期について考察する。 筆記試験：90点 合計100点 60点以上を履修とする。 			
	参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) クラウス・ケネル（竹内徹 訳）：親と子のきずな。医学書院。1985 2) 新道幸恵・和田サヨ子：母性の心理社会的側面と看護ケア。医学書院。1990 			
備考					